第2回
周南市市民館跡地エリア
整備基本構想・基本計画
に関する有識者検討会議

令和8年5月13日(水)10:00～12:00

周南市役所 企画部 企画課

有識者検討会議スケジュール案

回	開催時期	議事内容（案）
第1回	令和8年 3月11日	1. これまでの検討経緯 2. スケジュール 3. 市民館跡地エリア整備の基本的な考え方について
第2回	令和8年 5月13日	○市民意見聴取結果の共有 1. 必要な施設機能および構成について 2. 配置・整備パターンの考え方
第3回	令和8年 7月	○市民意見聴取結果の共有 1. 配置計画および施設内ゾーニングの考え方 2. 事業方針 3. 施設運営の考え方
第4回	令和8年 9月	○市民意見聴取結果の共有 1. 事業手法の検討および整備スケジュール 2. 概算事業費の算出
第5回	令和8年 10月	1. 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案について 2. 今後のスケジュール

※開催時期および議事内容は変更となる可能性があります。

議事

1. 市民意見聴取結果の共有

-1　オープンハウスの実施結果

-2　市民ワークショップの実施予定

2. 必要な施設機能および構成について

3. 配置・整備パターンの考え方

-1　エリアの敷地条件

-2　配置および整備パターンの比較検討

1. 市民意見聴取結果の共有

1-1. オープンハウスの実施結果

【開催概要】

開催日時	令和8年3月20日（金・祝）
開催場所	**徳山動物園**　北園自然学習館1階　中央ホール マルシェ「どうぶつばっかり展」にブース出店
参加者数	185名
テーマ	「市民館跡地エリアでどんな時間を過ごせたら良いですか？」

1-1. オープンハウスの実施結果

【開催概要】

- 乳児や未就学児、小中学生を連れた親子グループが大多数を占めており、子育て支援機能やこども居場所機能への関心がある意見が多かった。

【オープンハウスでの意見（抜粋）】※赤字は若者に多かった意見

くつろぐ	あそぶ、たのしむ	たいけんする	つくる	はっぴょうする	そうだんする
【勉強】 ・子どもが勉強できる場所 ・放課後に友達と勉強がしたい ・社会人　資格の勉強1人で静かにしたい 【読書】 ・本を読むことができる 【交流】 ・知らない人とかかわりあう ・親子で過ごせる場所 ・ちょっと過ごせる場所	【雨の日】 ・雨の日でも遊べる屋内遊び場 ・放課後、中高生が遊ぶ場所がない ・親子でも遊べるし、友達とかでも遊べるところで使いたい ・子どもが遊べる場所平日午前中	【イベント】 ・親子で参加できるイベント 【鑑賞】 ・コンサート鑑賞 ・地元の人の演奏 ・敷居が高くない、服装を気にせず気軽にいける ・演劇　音楽子どもを連れて体験できる ・気軽に、安く、クラシックコンサートやピアノの演奏が聴きたい ・講演会	【料理】 ・料理教室で作ってピクニック ・親子の料理教室（家ではハードルが高い） 【スタジオ】 ・防音の部屋で楽器練習、歌の練習 ・習い事、地域でやりたい ・親子と一緒に何か作る ・多目的ホール的なもの、活動の場所	【演奏】 ・ピアノの発表会 ・部活動の発表会 ・子どもの発表の場があるといい ・作品展示 ・ハンドメイドマルシェ	【交流】 ・子どもが小さい時、親同士交流できるといい 【相談】 ・子育て相談が気軽にできる場所 ・進学の相談市にどんな学校があるか ・病院の場所を気軽に聞けるところ

1-2. 市民ワークショップの実施予定

実施目的：　市民館跡地エリア整備事業やまちづくりへの関心を高めるとともに、本計画策定に向けた市民意見聴取の機会として、**学生ワークショップを開催**する。こどもの居場所や成長機会を支える場所が市内に不足している現状を把握し、本エリアの役割や導入機能、事業・サービス内容　等の検討のよりどころとする。

実施対象：　市内に在住もしくは市内の学校に通う**高校生～大学院生**

実施日時およびテーマ案：

回数	実施日時（予定）	テーマ案
第1回	令和8年6月14日（日） 14：00～16：00	どんな経験が「成長」につながる？
第2回	令和8年7月11日（土） 10：00～12：00	市民館跡地エリアで生まれる 「成長のきっかけ」を考えよう！ 「こどもの居場所」を考えよう！
第3回	令和8年8月8日（土） 10：00～12：00	企画書にする 「市民館跡地エリアでやってみたいこと」 を考えよう！
第4回	令和8年8月22日（土） 10：00～12：00	

2. 必要な施設機能および構成について

2-1. 必要な施設機能について

本施設における施設機能一覧

【再掲】8つの基本的な役割・機能

機能	施設イメージ
出会い・交流創出機能	・緩やかにつながることのできる共用スペース ・いつでもどこでも誰でも好きなことができる「日常」の延長にある空間づくり ・こどもからお年寄りまで、多世代が集い、活動できるフリースペース　など
発信拠点機能	・幅広い世代が、日常的な活動ができる諸室　・他施設機能との機能連携・分担が可能な動線・配置 ・まちの魅力を発信・PRするコーナー　など
創造拠点機能	・市民の創作・発表の場など、文化活動の拠点となる本格的なホール ・練習等、日常的な文化芸術活動ができる諸室　など
人材育成機能	・市民活動のスペース　・会議や講座・研修会、ワークショップなど、様々な用途に使える多目的な会議室 ・専門家による相談窓口　など
こども居場所機能	・日常的な文化芸術活動ができる諸室、練習室　・中高生が集い学習できるスペース　など
子育て支援機能	・子育て交流スペース、学習スペース ・母子保健機能専用室、子育て相談室、キッズルーム、キッズコーナー　など
健康増進機能	・健康に関する情報発信や自発的な情報収集・気づきを促す場 ・健診ホール、健康増進室、相談室、開放型調理室　など
避難所機能	・避難所としての機能および非常用電源の確保　・自主防災組織の会議や研修に利用できる研修室　など

エリア内におけるその他機能

生活利便機能	・税務署、法務局などの行政機関　・銀行支店　など

2-1. 必要な施設機能について

本施設における施設機能一覧

エリア内導入施設と基本的な役割および導入機能の整理

基本的な役割・導入機能 / エリア内導入部門	出会い・交流創出機能	発信拠点機能	創造拠点機能	人材育成機能	こども居場所機能	子育て支援機能	健康増進機能	避難所機能	生活利便機能
文化小ホール部門	○	○	○	○					
創造活動部門	○	○	○	○	○				
保健センター部門		○		○			○	○	
子育て支援部門	○	○		○	○	○			
交流促進部門	○	○	○		○				
周南地方合同庁舎									○
山口銀行徳山支店									○

2-1. 必要な施設機能について

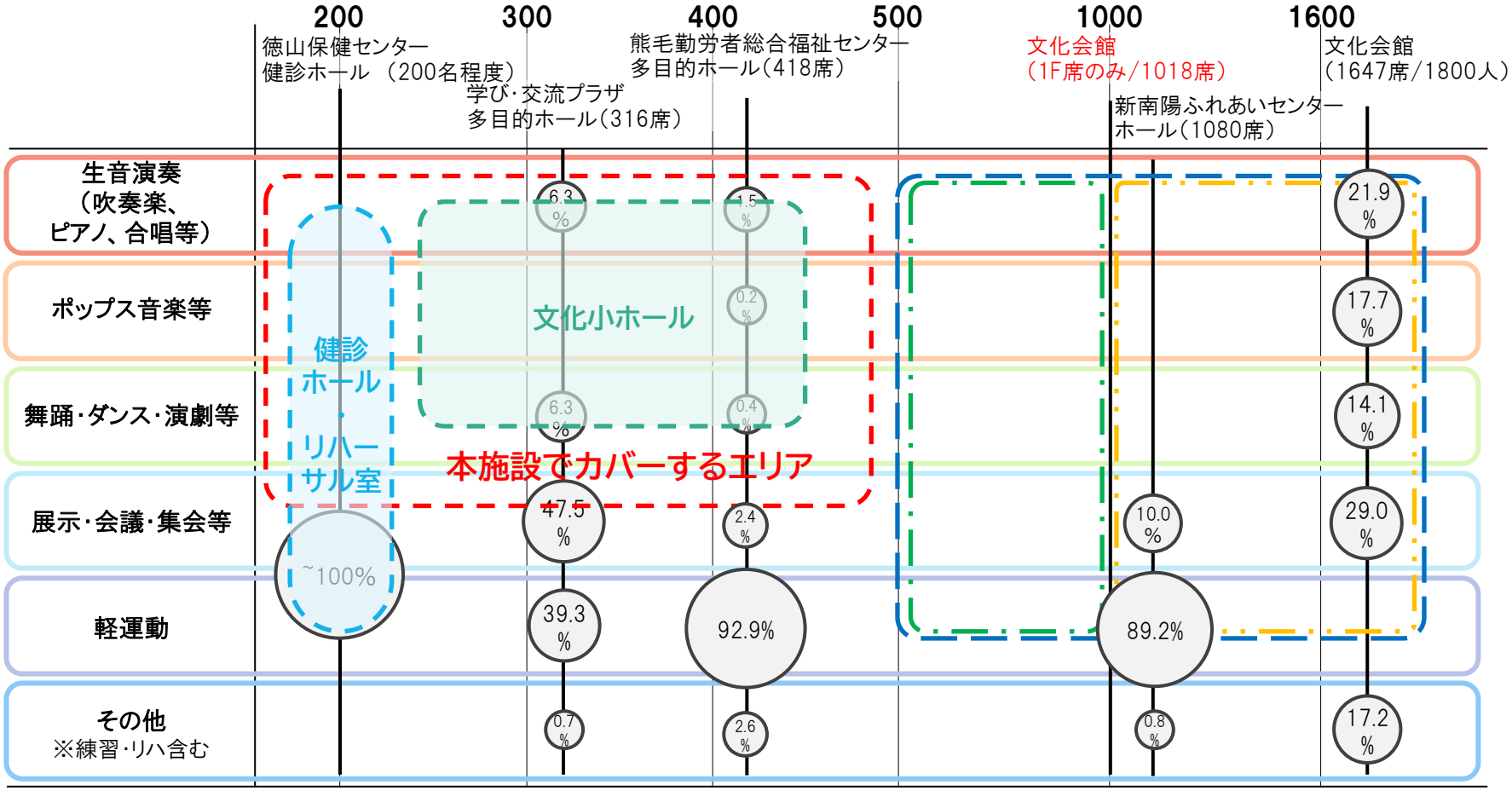
文化小ホール部門

【客席数について】

（再掲）本施設がカバーするエリア

※各施設のジャンル別割合（%）は、徳山保健センターを除き、平成30～令和4年度の利用件数合計から分析

- 不足している機能および規模
- 文化会館対応規模
- 文化会館1F席利用対応規模
- 文化会館全館利用対応規模



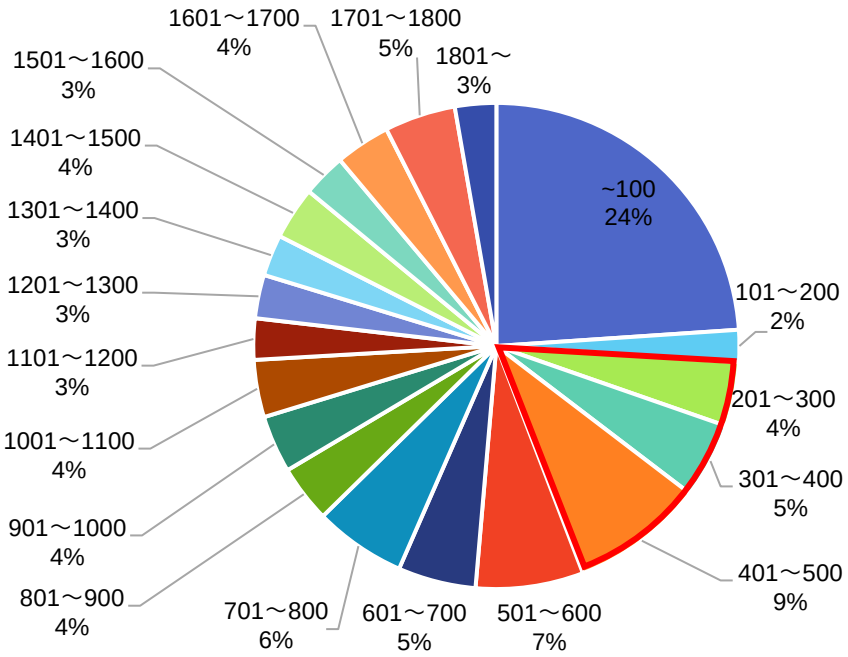
2-1. 必要な施設機能について

文化小ホール部門

【客席数について】

（再掲）文化会館 大ホール利用状況

平成30年度～令和6年度の利用状況



文化振興財団による主催事業のうち
300～500人利用のもの（R3～R6年度）

R6年度
- ｶｰﾃﾝｱｯﾌﾟ ｺﾝｻｰﾄVol.2～周南ゆかりの若手演奏家たち（390名）

R5年度
- LEO箏リサイタル2023-2024－GRID//OFF-（300名）
- 華麗なるフランス音楽の夕べ　名門パリ管弦楽団（400名）
- ｶｰﾃﾝｱｯﾌﾟ ｺﾝｻｰﾄ周南市ゆかりの若手演奏家たち（386名）

R4年度
- 上野耕平率いるThe Rev Saxophone Quartet（423名）
- LEO（琴）ｺﾝｻｰﾄ～和と洋が奏でる音楽の未来形～（334名）

R3年度
- 古澤巖～「品川カルテットgaia2」（353名）
- オペラ　アドリアーナ・ルクヴルール（454名）

2-1. 必要な施設機能について

文化小ホール部門

【客席数について】

①中間報告におけるアンケート結果より

- 文化団体アンケートにおいては～**300人規模**を望む声が多い
- 幼稚園・保育園・こども園アンケートにおいては～**300人規模**を望む声が多い
- 学校（部活動）アンケート結果においては、～**100人規模**を望む声が多い

②健診ホール兼リハーサル室の設置

- 既存徳山保健センターにおける健診ホール機能を継承設置することとする。
- 健診ホールは200名程度の収容が可能であり、文化芸術活動における練習利用なども可能な設えとすることで、文化会館大ホールにおいて～100人程度で利用されている練習利用などをカバーすることが可能。

③文化会館大ホールにおける利用状況より

- 文化会館大ホールにおいて、文化小ホールがカバーする必要のある201～500人での利用のうち特にウェイトが大きいのは**401～500人利用**

➡本計画内においては、**文化小ホールの客席数は300～500席程度**とし、今後の設計段階において詳細な検討を行うこととする。

2-1. 必要な施設機能について

文化小ホール部門

【参考】楽屋数についての考え方

施設名称	伊予市文化交流センター IYO夢みらい館		横浜市 戸塚区民文化センター さくらプラザ		スターツおおたかの森ホール		西神中央ホール なでしこ芸術文化センター	
所在地	愛媛県伊予市		神奈川県横浜市		千葉県流山市		兵庫県神戸市	
開館年	R1/2019		H25/2013		H31/2019		R4/2022	
主目的	多目的		多目的		多目的		多目的	
客席数		**382席**		**451席**		**494席**		**500席**
楽屋	楽屋1	34㎡	楽屋1	20㎡	小1	10㎡	ルーム1	29㎡
	楽屋1	29㎡	楽屋2	32㎡	小2	10㎡	ルーム2	20㎡
			楽屋3	35㎡	個室	15㎡	ルーム3	15㎡
			楽屋4	45㎡	大1	20㎡	ルーム4	11㎡
					大2	20㎡		
合計		63㎡		112㎡		75㎡		46㎡

➡他事例と同等程度を確保することとする。
楽屋が不足する際は、練習室・会議室、リハーサル室等を楽屋利用できるよう、配置や動線に留意することとする。

2-1. 必要な施設機能について

文化小ホール部門
市民の発表の場からプロによる興行利用まで、幅広い利用を想定し、 音楽、演劇、ダンスまで幅広いジャンルに対応可能なホール
収容人数：300～500名程度 ・文化団体や学校団体による発表の場かつ日常的な活動場所となることを想定する。 ・音楽、ダンス、演劇等の公演および練習が十分に行える広さの舞台・舞台袖として、**主舞台サイズは6間（約11m）角程度**で検討する。また、**音響反射板形式時には、最大間口8間（約14.5m）で利用可能**となるよう検討する。 ・**舞台は固定舞台、客席は固定席**とする。 ・客席は良好な鑑賞環境に配慮し、少人数での利用も考慮した設えとする。 ・ユニバーサルデザインに配慮し、親子や障がいのある人も利用できる多目的鑑賞室を整備する。 ・楽屋は幅広い利用人数に使える構成とし、不足する場合には他活動諸室等も楽屋利用ができるような動線、設えとする。また、楽屋として利用しない際には会議室として貸出可能な動線、設えとする。 ・良好な搬入動線に配慮する。

諸室イメージ	延床面積
舞台、搬入ヤード、備品倉庫　等	約2,200㎡
客席、多目的鑑賞室　等	
楽屋、楽屋用トイレ、倉庫　等	
調光室・音響調整室、各投光室　等	
ホール事務室、舞台技術スタッフ控室、会議室、ロッカー・更衣室　等	

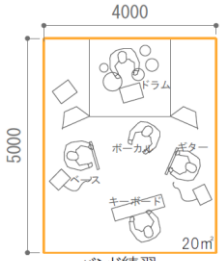
2-1. 必要な施設機能について

創造活動部門

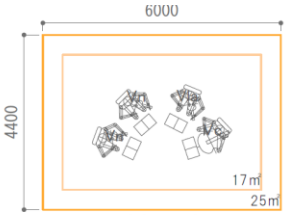
●ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置
●本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室を設置

【参考】練習室についての考え方

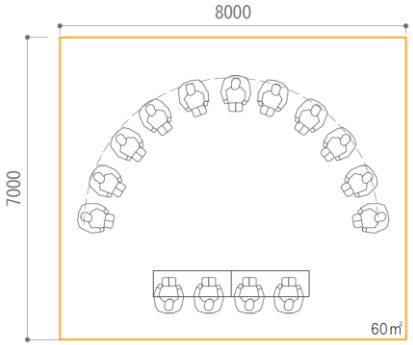
小規模利用イメージ



バンド練習

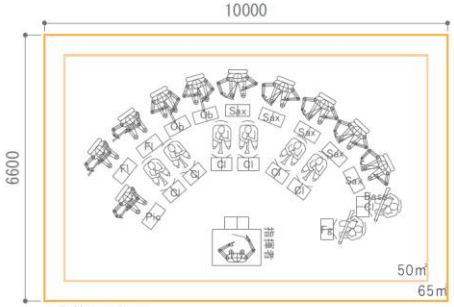


弦楽四重奏

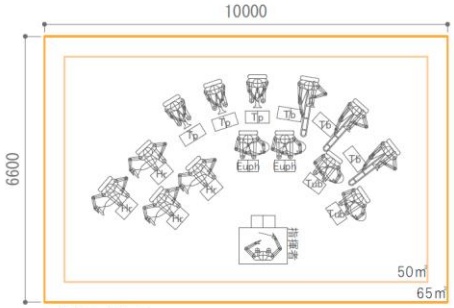


演劇読合せ

中規模利用イメージ

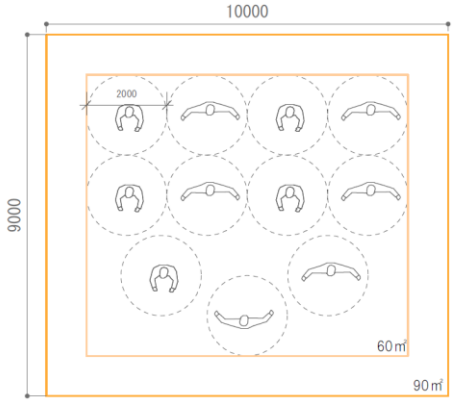


木管セクション
クラリネット×6、ピッコロ×1、オーボエ×2、バスクラ×1
サックス(ソプラノ・アルト・テナー・バリトン)×5、ファゴット×1、

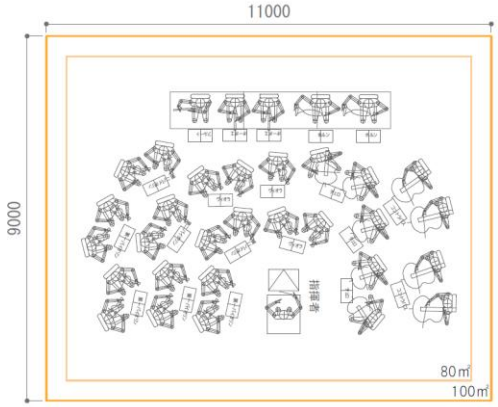


金管セクション
ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×2、
バス・トロンボーン×1
ユーフォニューム×2、チューバ×2

大規模利用イメージ



ダンス練習(11～12名程度)



モーツアルト「交響曲第40番」・37人

2-1. 必要な施設機能について

創造活動部門

●ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置
●本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室を設置

【参考】練習室についての考え方

●北上市文化交流センター
さくらホール

【アートファクトリー】
・大・小21室の練習室・和室などを配置。
・共用部から中の活動が見られるよう、各室の壁面は、ガラス張りとしている。

出典：北上市文化交流センター さくらホールfeat.ツガワ HP

［練習室系］

ミュージックルーム1（生音系）

ミュージックルーム2（電気音響系）

アクティングルーム（舞踊系）

アンサンブルルーム1（小規模向）

アンサンブルルーム2（小規模向）

トレーニングルーム（声出し等）

和室　さくら
※和室はこの他2部屋あり

レッスンルーム1・2（小規模向）

2-1. 必要な施設機能について

創造活動部門

●ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置
●本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室を設置

【参考】練習室についての考え方

●北上市文化交流センター
さくらホール

【アートファクトリー】
・大・小21室の練習室・和室などを配置。
・共用部から中の活動が見られるよう、各室の壁面は、ガラス張りとしている。

出典：北上市文化交流センター さくらホールfeat.ツガワ HP

［制作活動系］

大アトリエ

スタジオ

小アトリエ

［ミーティング・ワークショップ等］

オープンルーム

多目的室

会議室

2-1. 必要な施設機能について

創造活動部門

●ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置
●本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室を設置

【参考】練習室についての考え方

施設名称	伊予市文化交流センター IYO夢みらい館		横浜市 戸塚区民文化センター さくらプラザ		スターツおおたかの森ホール		西神中央ホール なでしこ芸術文化センター	
所在地	愛媛県伊予市		神奈川県横浜市		千葉県流山市		兵庫県神戸市	
開館年	R1/2019		H25/2013		H31/2019		R4/2022	
主目的	多目的		多目的		多目的		多目的	
客席数		**382席**		**451席**		**494席**		**500席**
楽屋	スタジオ1	132㎡	練習室1	40㎡	リハーサル室	151㎡	スタジオ1	91㎡
	スタジオ2	28㎡	練習室2	30㎡	スタジオ1	45㎡	スタジオ2	5㎡
	スタジオ3	37㎡	練習室3	30㎡	スタジオ2	45㎡	スタジオ3	13㎡
			練習室4	58㎡			スタジオ4	28㎡
							ピアノ室	12㎡
合計		197㎡		158㎡		241㎡		149㎡

➡他事例と同等程度を確保することとする。
さまざまなサイズで多様な活動ができるような設えとする。

2-1. 必要な施設機能について

創造活動部門
●ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなリハーサル室や練習室等の諸室を設置 **●本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室を設置**
リハーサル室 ・健診ホールと兼用とし、200名程度収容可能とする。 ・文化小ホールで本番利用の際のリハーサル室利用が可能なよう、配置および動線に留意する。 ・リハーサル利用の他、日常的な活動の練習が可能な設えとする。 **練習室** ・日常的な文化芸術活動が可能な練習室とする。 ・大小さまざまな大きさの諸室とし、ダンス利用や生音演奏、電気音響を用いた演奏など、各種利用に対応した設えとする。 ・文化小ホールの楽屋利用や会議室利用も可能な設えとし、配置および動線に留意する。 **会議室** ・現在の会議室不足を補うため、大小様々な会議室の設置を検討する ・楽屋や練習室としても活用可能な動線・設えとする

諸室イメージ	延床面積
リハーサル室（健診ホールと兼用）	―
練習室	約600㎡
会議室	
楽器庫、倉庫、給湯室、等	

2-1. 必要な施設機能について

保健センター・子育て支援部門

学習・活動スペース
・小中高生や若者が自由に交流や活動できる場とする
・こども達が安心して過ごせる学校、家庭以外の第3の居場所を創出する
調理室
・こどもからおとなまで、誰でも活用できる開放的な空間とする
健診ホール（兼リハーサル室）
・おとなやこどもの定期的な集団健診ができる場とする
・リハーサル、日常的な活動の練習、会議・研修会としても利用可能な設えとする
子育て交流スペース
・子育て中の親子が気軽に交流することができる場とする
・子育てに不安や悩みを持って訪れる親に対する相談を強化する
事務室、相談室、活動諸室等
・18歳までのこどもと子育て家庭の伴走型支援を実施するための場とする
・母子手帳の交付や、各種相談の場とする
・子育てに関する講座を行う場とする

諸室イメージ	延床面積
こどもの居場所	約1,400㎡
子育て交流スペース	
オープンキッチン	
健診ホール（兼リハーサル室）	
事務室、相談室、活動諸室等	

2-1. 必要な施設機能について

交流促進部門

エントランスロビー
・文化小ホール等で催しを行う際に、観客の待機スペースとして利用できる空間とする
・小規模なミーティング等で利用できるよう椅子やテーブル等を設置する
・活動のお知らせやメンバー募集など、利用者同士の情報交換が行えるスペースを計画する
・目的がなくても気軽に立ち寄ることができるような空間とする
・隣接する施設や屋内外がつながるような一体感のある空間とする

ギャラリースペース
・作品展示や日頃の活動の発信・PRなどが行えるスペースを設置する

飲食スペース
・隣接する民間施設とも調整を図りつつ、利用者が自由に時間を過ごし交流を深めるための飲食可能な空間の配置を検討する

諸室イメージ	延床面積
エントランスロビー	約200㎡
ギャラリースペース	
飲食スペース	

【参考】エントランスロビー・ギャラリースペースについての考え方

●土佐市複合文化施設つなーで（高知県）
【つなーでラウンジ】
1階の共用空間で誰でも通れる空間である

●ひらしん平塚文化芸術ホール（神奈川県）
【ひらつかの魅力紹介コーナー】
まちの魅力を紹介するスペース

出典：土佐市複合文化施設 つなーでHP

〈つなーでラウンジ〉

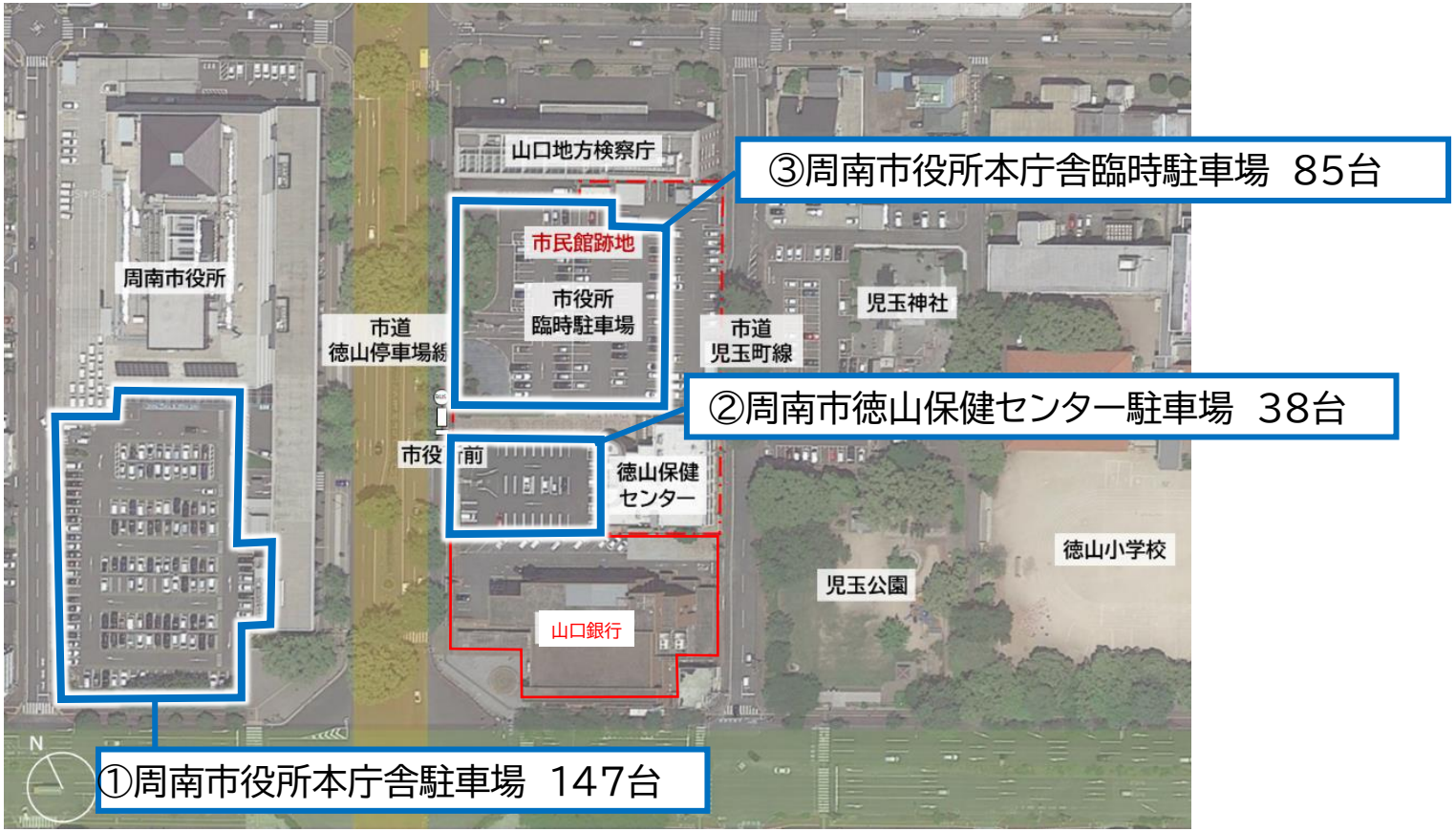
出典：ひらしん平塚文化芸術ホールHP

〈ひらつかの魅力紹介コーナー〉

2-1. 必要な施設機能について

駐車場台数の考え方

計画地周辺の駐車場分布状況



①～③の合計：270台

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

- 本エリア整備に伴う増加分と本庁舎駐車場の不足分とする。
- 休日および平日の必要台数を算出し、合計値のうち最大のものを採用する。
- 周辺駐車場との連携により効率的な駐車台数の確保と混雑緩和を図る。
- 新たに必要とされる駐車台数の考え方は以下のとおり。

	施設機能	エリア内必要台数の考え方
A	文化小ホール	ホール公演時、満席の場合に必要とされる台数
B	子育て支援機能増加分	既存施設同等以上（15台）
C	周南地方合同庁舎	60台
D	山口銀行徳山支店	20～25台程度
E	（ピーク時）本庁駐車場不足分	60台程度

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

①休日の駐車場必要台数

A:文化小ホールの駐車場必要台数

休日の文化小ホールにおいては公演開催時の満席利用時がMAXの必要台数となるため、その場合を想定する。

300席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	300人	公演開催有・満席利用時
駐車場台数	自動車の来館者数	192人	自動車で来館する割合を64.1%と想定 300×0.641≒192人 ※1
	ピーク時の必要駐車場台数	**111台**	自動車への乗車人数平均を1.72人/台と想定 192÷1.72≒111台 ※2

500席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	500人	公演開催有・満席利用時
駐車場台数	自動車の来館者数	321人	自動車で来館する割合を64.1%と想定 500×0.641≒321人 ※1
	ピーク時の必要駐車場台数	**187台**	自動車への乗車人数平均を1.72人/台と想定 321÷1.72≒187台 ※2

➡111～187台

※1 R3年度「全国道路・街路交通情勢調査」の山陽エリアの乗用車(自家用車)の稼働率を参照。
※2 R3年度「全国道路・街路交通情勢調査」の山陽エリアの乗車人数平均を参照。
なお、山陽エリアの貨物車を除いた乗用車(自家用車)での「私事」目的における乗車人数平均は以下となる。
＜**平日1.42人/台　休日1.72人/台**＞

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

①休日の駐車場必要台数

B：子育て支援機能の駐車場必要台数
「ぞうさんの家」の駐車場台数15台は同数が駐車場必要台数として考えられるが、文化小ホールと保健センターのピーク時とは重ならないと想定されることから、駐車場必要台数には換算しない。
※ピークが重なる場合は現本庁舎駐車場を利用することとする。
【参考】
既存施設（子育て交流センターぞうさんの家）駐車場台数：15台
開館日：月曜日～金曜日の9:00～11:30／13:00～15:30、第2・第4土曜日の9:00～11:30

C：周南地方合同庁舎の駐車場必要台数
休日のため国庁舎は開庁しない想定であり、駐車場必要台数は加味しない。

D：山口銀行徳山支店の駐車場必要台数
休日のため銀行営業時間外であり、駐車場必要台数は加味しない。

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

②平日の駐車場必要台数

A:文化小ホールの駐車場必要台数

平日の文化小ホールにおいては夕方以降の公演開催時の満席利用時がMAXの必要台数となるため、その場合を想定する。

300席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	300人	公演開催有・満席利用時
駐車場台数	自動車の来館者数	192人	自動車で来館する割合を64.1%と想定 300×0.641≒192人 ※1
	ピーク時の必要駐車場台数	**135台**	自動車への乗車人数平均を1.42人/台と想定 192÷1.42≒135台 ※2

500席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	500人	公演開催有・満席利用時
駐車場台数	自動車の来館者数	321人	自動車で来館する割合を64.1%と想定 500×0.641≒321人 ※1
	ピーク時の必要駐車場台数	**227台**	自動車への乗車人数平均を1.42人/台と想定 321÷1.42≒227台 ※2

➡135～227台

※1 R3年度「全国道路・街路交通情勢調査」の山陽エリアの乗用車(自家用車)の稼働率を参照。
※2 R3年度「全国道路・街路交通情勢調査」の山陽エリアの乗車人数平均を参照。
なお、山陽エリアの貨物車を除いた乗用車(自家用車)での「私事」目的における乗車人数平均は以下となる。
＜平日1.42人/台　休日1.72人/台＞

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

②平日の駐車場必要台数

B：子育て支援機能の駐車場必要台数
平日の駐車場利用が見込まれるため、現状の駐車台数である**15台と同台数程度**を想定する。
【参考】
既存施設（子育て交流センターぞうさんの家）駐車場台数：15台
開館日：月曜日～金曜日の9:00～11:30／13:00～15:30、第2・第4土曜日の9:00～11:30

C：周南地方合同庁舎の駐車場必要台数
平日の周南地方合同庁舎の必要台数は60台とする。なお、官用車用駐車場は国の敷地内に確保する。

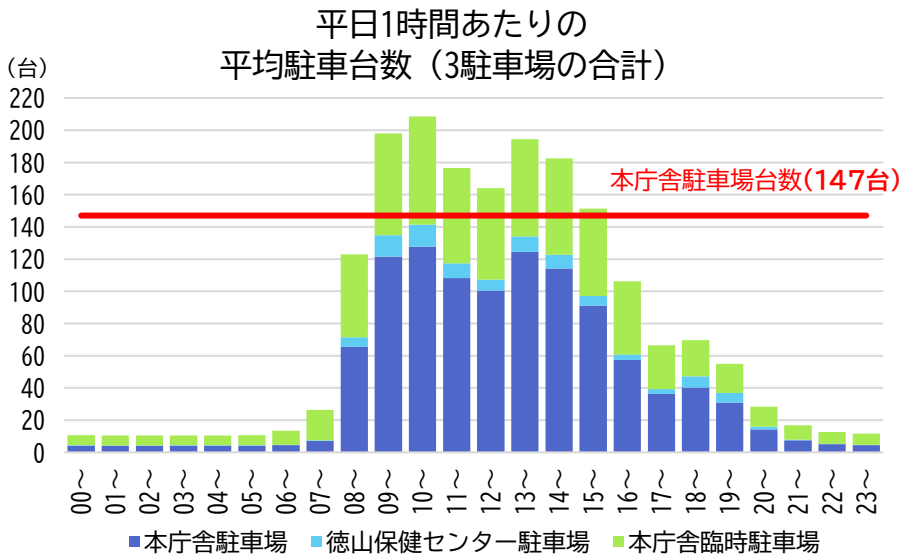
D：山口銀行徳山支店の駐車場必要台数
平日は山口銀行の営業時間内となるため、現状稼働している**20～25台程度**を駐車場必要台数として想定する。

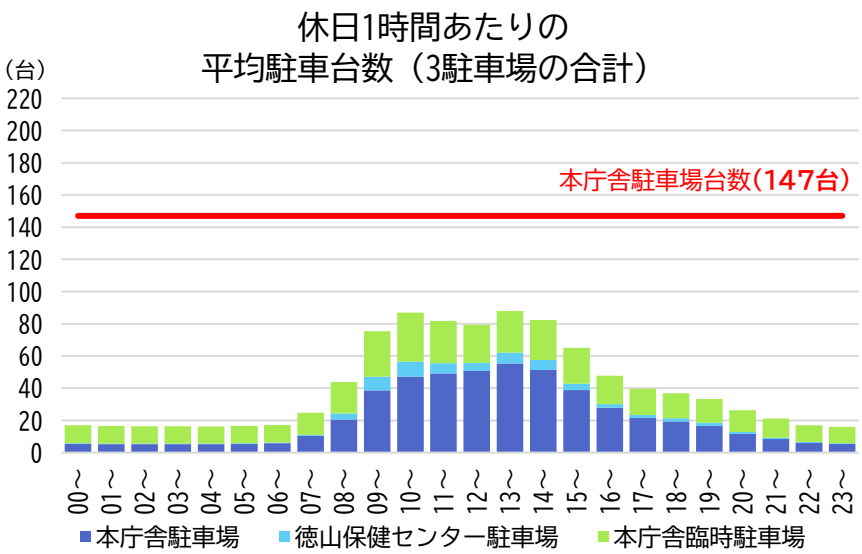
2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

現市庁舎駐車場ピーク時の分析

- 市庁舎駐車場利用データ（令和7年度）より、本庁舎駐車場・徳山保健センター駐車場・本庁舎臨時駐車場における駐車ピーク時間帯を分析した。





・平日における利用駐車台数の3駐車場の合計は、9～11時まで／13～15時までのピーク時において**約200～210台**が平均して駐車している。
・休日における利用駐車台数の3駐車場の合計は、10～11時まで／13～14時までのピーク時において**約90台**が平均して駐車している。

ピーク時には本庁舎駐車場（147台）を兼用する前提とした際、本施設における駐車場でまかなう必要がある台数は、**平日：約60台／休日：0台**となる。

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

駐車場必要台数のまとめ

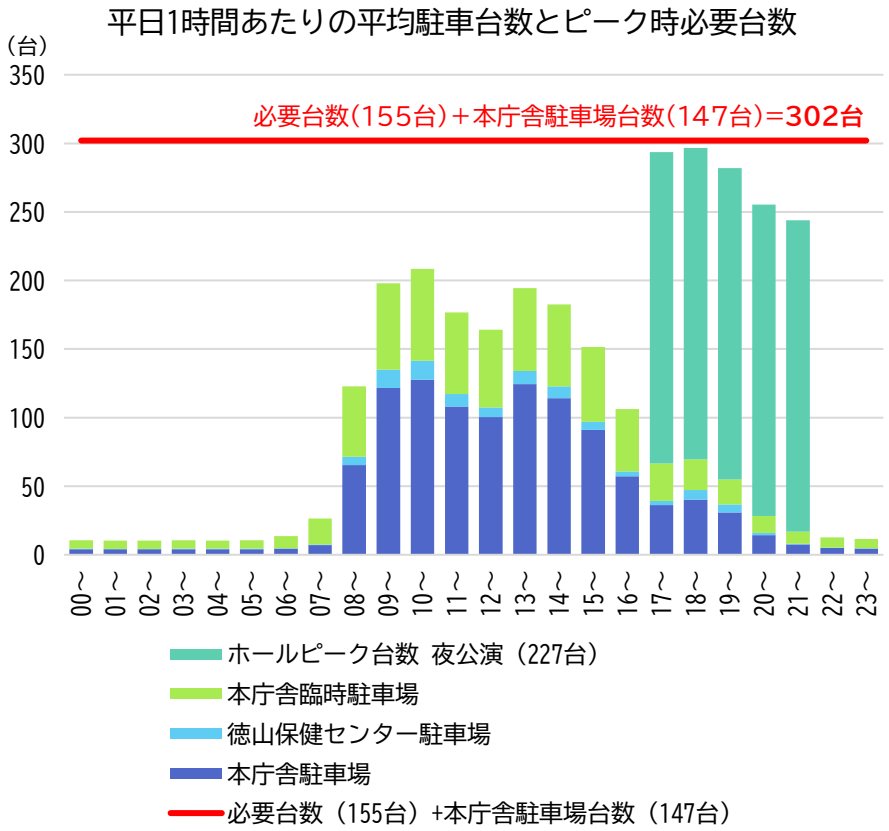
	施設機能	休日の必要台数	平日の必要台数	
			日中ピーク時	夕方ピーク時
A	文化小ホール	111～187台		135～227台
B	子育て支援機能増加分	0台	15台	0台
C	周南地方合同庁舎	0台	60台	0台
D	山口銀行徳山支店	0台	20台	0台
E	(ピーク時)本庁駐車場不足分	0台	60台	0台
合計		**111～187台**	**155台**	**135～227台**

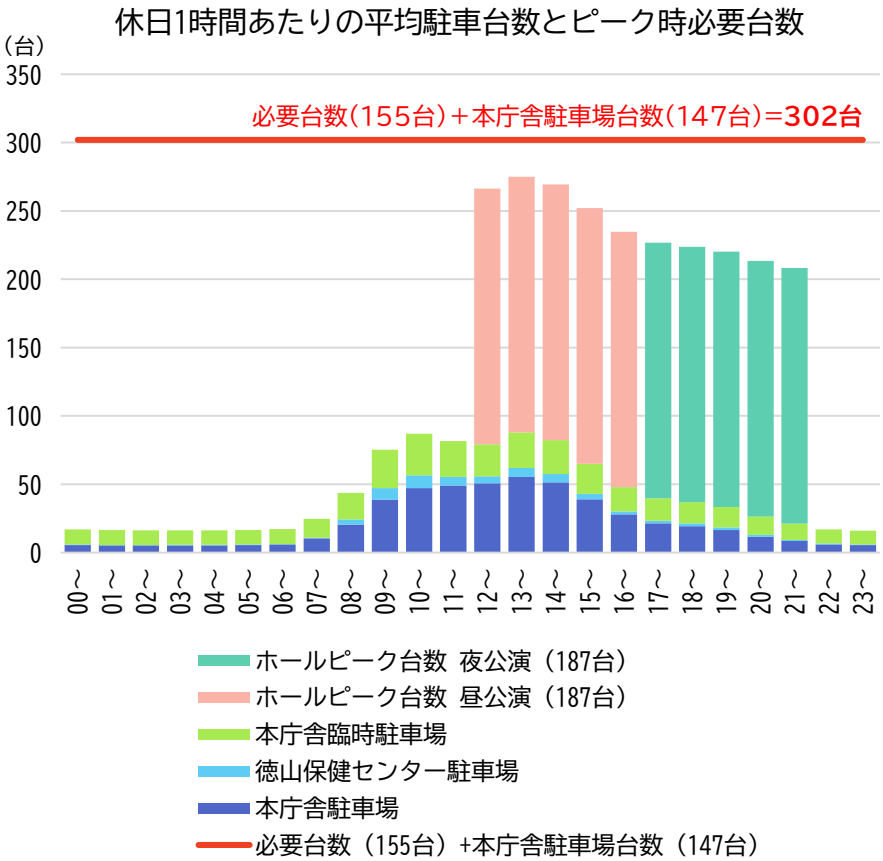
駐車場内の混雑緩和と利用者の安全確保を図るため、本庁舎駐車場(147台)をはじめとした周辺駐車場との相互利用を前提とする。例えば、本庁舎閉庁時間帯である休日および平日夕方ピーク時には、本庁舎駐車場の利用が可能。
➡本計画上は平日日中ピーク時の**155台程度**を最低必要台数として整理し、今後設計段階において詳細な検討を行うこととする。

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐車場台数の考え方

駐車場必要台数のまとめ





1時間あたりの平均駐車台数にホールの平日・休日それぞれのピーク台数を加えても、前頁にて整理した必要台数(155台)と本庁舎駐車場台数(147台)を加えた台数を超えることはないと想定される。

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐輪場台数の考え方

- 新たに必要な駐輪場台数について、文化小ホール公演開催時の満席利用時がMAXの必要台数となるため、その場合を想定する。
- 加えて、小中高生も気軽に立ち寄れる場所になることを踏まえ、他市の事例も参考に十分な台数を確保する。
- 詳細な台数については、今後の設計段階において検討を行うこととする。

300席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	300人	公演開催有・満席利用時
駐輪場台数	自転車の来館者数	18台	自転車で来館する割合を6.1%と想定 300×0.061≒18台 ※1
	バイクの来館者数	7台	バイクで来館する割合を2.4%と想定 300×0.024≒7台 ※2

500席の場合

項目		数値	備考
来館者数	最大来館者数	500人	公演開催有・満席利用時
駐輪場台数	自転車の来館者数	31台	自転車で来館する割合を6.1%と想定 500×0.061≒31台 ※1
	バイクの来館者数	12台	バイクで来館する割合を2.4%と想定 500×0.024≒12台 ※2

※1「周南市の公共交通に関するアンケート調査」より、【その他の外出】についての交通手段で自転車を乗る割合は南部で6.1%
※2「周南市の公共交通に関するアンケート調査」より、【その他の外出】についての交通手段で自動二輪車・原付を乗る割合は南部で2.4%

➡自転車　:18～31台
バイク　:7～12台

2-1. 必要な施設機能について

新たに整備する駐輪場台数の考え方

【参考】類似施設の台数

施設名称	武蔵野プレイス		toko⁺toko⁻labo（江南市布袋駅東複合公共施設）		Monaca（真岡市複合交流拠点施設）	桜川市生涯学習センターさくらす		まちなかリビング北千里
所在地	東京都武蔵野市		愛知県江南市		栃木県真岡市	茨城県桜川市		大阪府吹田市
開館年	H23/2011		R5/2023		R3/2021	R7/2025		R4/2022
延床面積	約9,810㎡		約7,497㎡（公共施設部分）		約7,144㎡	約3,635㎡		約3,070㎡
主な施設機能	図書館・青少年活動支援		図書館・子育て支援・保健センター		図書館・子育て支援	図書館・子育て支援		図書館・子育て支援
内訳	自転車	236台	自転車	161台		駐輪場	20台	
	バイク	4台	バイク	10台		バイク	5台	
合計	**240台**		**171台**		**108台**	**25台**		**40台**

※自転車・バイク台数がわかるものについては内訳を記載

2-2. 施設構成について

施設全体の延床面積(案)

部門	主な諸室	延床面積
文化小ホール部門	舞台・客席、ホワイエ、楽屋・技術諸室等バックヤード、ホール運営事務室　等	約2,200㎡
創作活動部門	練習室、リハーサル室、会議室、楽器庫、倉庫　等	約600㎡
保健センター 子育て支援部門	事務室、母子手帳交付室、相談室、子育て交流スペース、自習室、オープンキッチン、健診ホール　等	約1,400㎡
交流促進部門	エントランスロビー、ギャラリースペース、飲食スペース等	約200㎡
その他	共用トイレ、授乳室、廊下、階段等	約2,000㎡
	機械室(DS、PS含む)	約1,100㎡
合計		**約7,500㎡**

3. 配置・整備パターンの考え方

3-1. エリアの敷地条件

■市民館跡地エリア　敷地与件

3-1. エリアの敷地条件

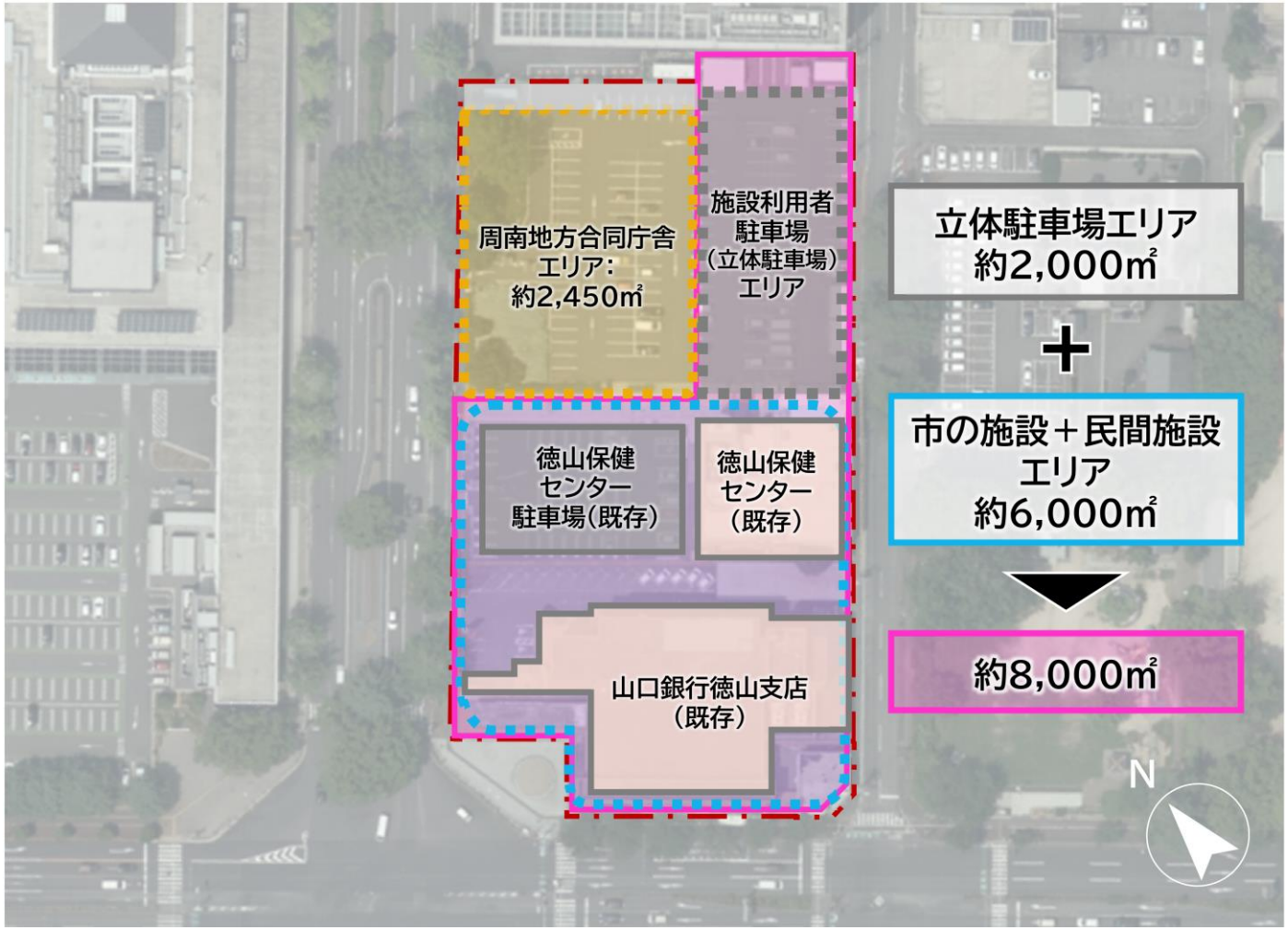
■市民館跡地エリア　敷地与件

		①市民館跡地敷地	②山口銀行徳山支店敷地	③中央交番跡地
敷地	面積	約7,156㎡	約3,279㎡	約111㎡
	用途地域	商業地域・準防火地域	商業地域・準防火地域	商業地域・準防火地域
	建蔽率／容積率	80%／400%	90%／400%	90%／400%
	傾斜	なし、約92m×約75mの整形敷地	なし	なし
	既存施設	徳山保健センター、保健センター駐車場、市役所臨時駐車場	山口銀行徳山支店	旧中央交番
土地条件	海抜	約15m	約15m	
	ハザードマップ	・洪水、高潮および津波の浸水域外 ・土砂災害による被害の警戒区域外 ・活断層による地震想定：震度6弱 ・徳山保健センターが市指定避難所（大火事を除く）	・洪水、高潮および津波の浸水域外 ・土砂災害による被害の警戒区域外 ・活断層による地震想定：震度6弱	
接道状況	周辺道路	北西側：徳山停車場線（岐山通り） 幅員36m 南東側：児玉町線　幅員12m	北西側：徳山停車場線（岐山通り）　幅員36m 南東側：児玉町線　幅員12m 南側：県道下松新南陽線　幅員36m	
	主接道面	2面	3面	2面
	備考	※敷地東側に位置する児玉町線にはタイワンゴヨウが植えられており、 道路幅員が一部狭くなっている箇所あり		
都市計画制限等	斜線制限	道路斜線、隣地斜線	道路斜線、隣地斜線	道路斜線、隣地斜線
隣地・周辺環境等	隣地状況等	北側：山口地方検察庁周南支部 ・周南区検察庁 南側：山口銀行　徳山支店 東側：児玉神社・児玉公園 西側：周南市役所	北側：市民館跡地 南側：県道下松新南陽線 東側：児玉神社・児玉公園 西側：周南市役所	北側：山口銀行　徳山支店 南側：県道下松新南陽線 東側：児玉神社・児玉公園 西側：山口銀行　徳山支店

3-1. エリアの敷地条件

■市民館跡地エリア　敷地与件

<u>エリア内のゾーニングおよび既存施設状況</u>

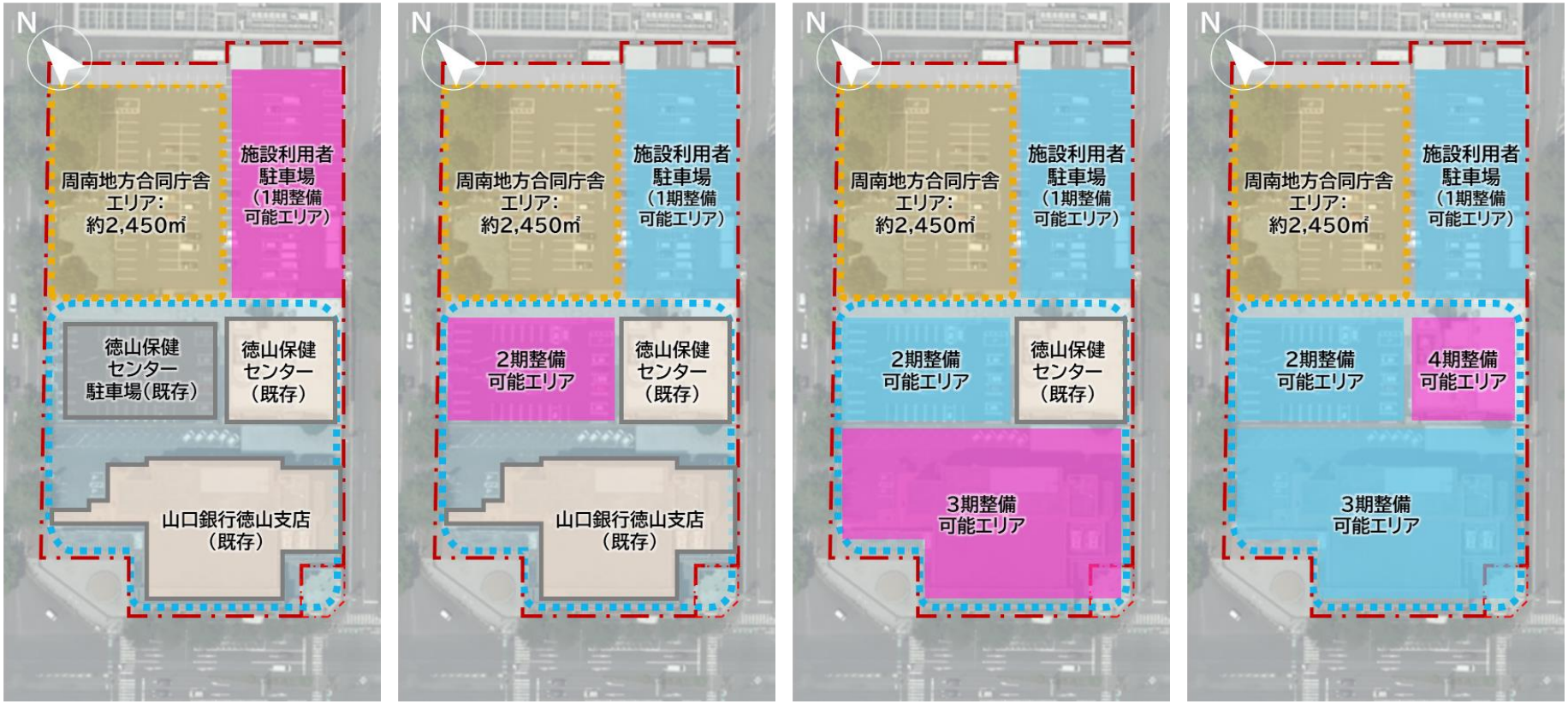


3-1. エリアの敷地条件

■整備にあたっての前提与件整理

- 保健センター機能・山口銀行徳山支店は工事中も機能継続する
- 周南地方合同庁舎も含め工事中も来庁者用の駐車場を確保する
- 2期整備エリアは面積が限られるため、ホール機能は3～4期整備エリアを前提とする

■整備フローのイメージ



3-2. 配置および整備パターンの比較検討

■整備パターンの検討　段階整備パターン

市施設への整備時期			
1期整備	2期整備	3期整備	4期整備
・駐車場機能	・生活利便機能	・健康増進機能 ・子育て支援機能 ・避難所機能	・出会い・交流創出機能 ・発信拠点機能 ・創造拠点機能 ・人材育成機能 ・こども居場所機能

エリア内整備手順

駐車場建設 ▶ 山口銀行棟建設 ▶ 山口銀行解体 ▶ ホール棟①建設 ▶ 保健センター解体 ▶ ホール棟②建設